

新日軽 カーポートシュガースペースⅡ 柱建て用 取付説明書

取付説明書番号 ME-1993

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
- 商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。

※縦連棟については別途各々の取付説明書を併せてご覧ください。

◎組立・施工の前に

- 本取付説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

○注意(設置場所・設置位置について)

- この商品は一般地域用です。【積雪強度900N/㎡(91.8kg/㎡)・耐風圧強度:38m/s】(風力係数1.0当社計算による)積雪の多い地域・風の強い地域には取付けないでください。
- 大屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により商品が破損するおそれがあります。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 柱移動は弊社指定範囲内にしてください。

○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分(4日~1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

— 目 次 —

組立・施工の前に、注意(設置場所・設置位置について)、施工時の注意事項	1
梱包明細、組立時に用意するもの	2
構造説明図	3
納まり図(単体、サイドパネル付き)	4
基礎の施工、桁の仮止め	5
垂木の取付け	6
桁の本締め	7
コーナーキャップの取付け	8
側枠の取付け	9
コンクリートの打ち込み・中骨の取付け	10
屋根材および押え材の取付け	11
雨樋の組立、施工完了時の注意事項	12

梱包明細

梱包名称	部材・部品名称	数量
柱	標準柱	2
	長柱	1
桁	桁(L:50・L:57)	2
	後枠ピース	L:50 14本入り、L:57 16本入り
	丸たて樋:L=3500 (ETC-2438-01)	2
側枠	側枠W:15~W:30	2
	側枠押え材W:15~W:30	2
中骨	中骨	7本入り、8本入り
垂木	垂木W:15~W:30	3本入り、4本入り
	垂木押え材W:15~W:30	3本入り、4本入り
屋根材	屋根材(熱線遮断ポリカーボネート)	1枚入り、3枚入り、4枚入り
	屋根材(アルミ樹脂複合板)	2枚入り、3枚入り

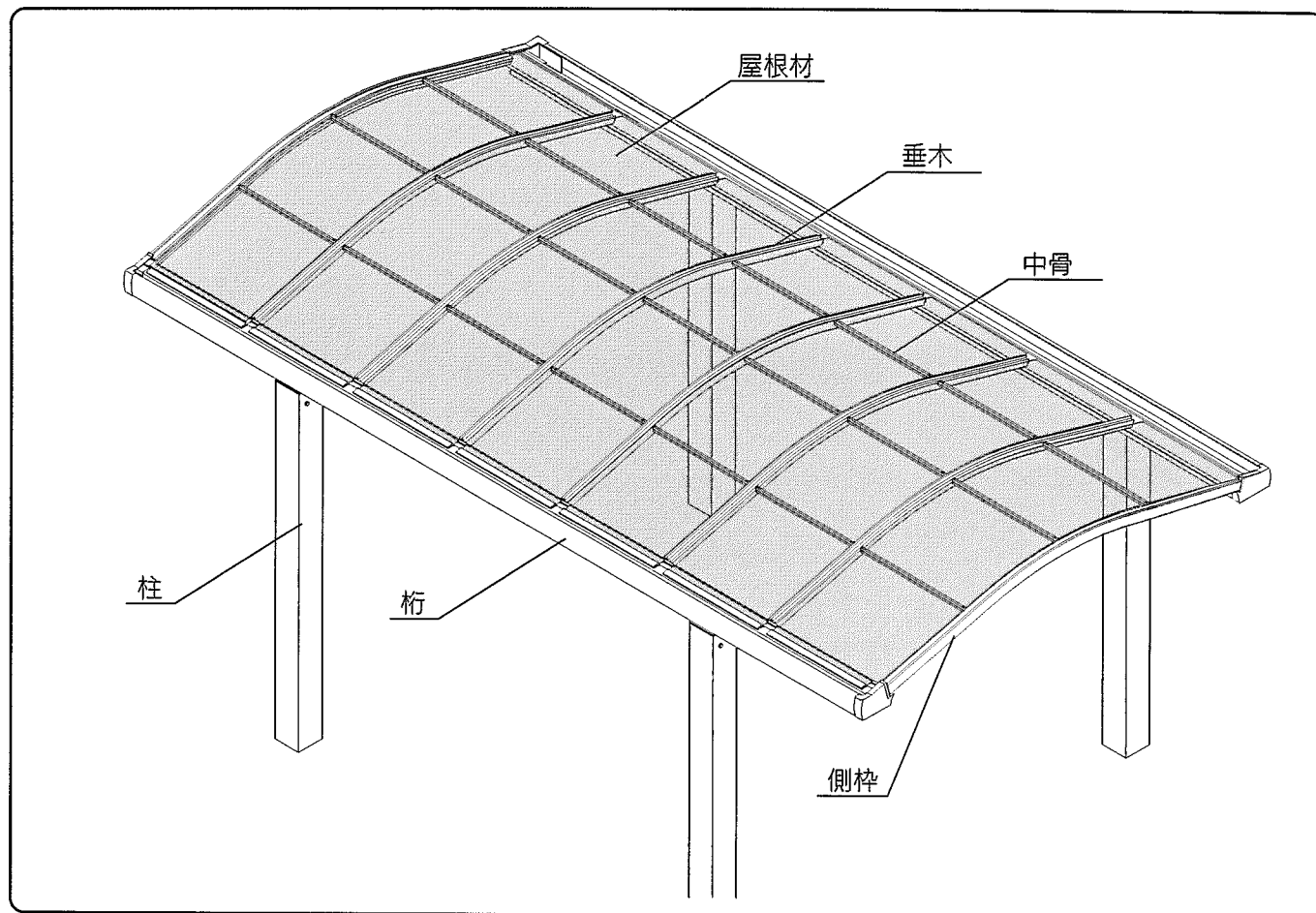
梱包名称	部品名称	部品記号	数量			
			間口15・18×50用	間口15・18×57用	間口24~30×50用	間口24~30×57用
屋根用部品箱	M4×10トラスタッピンネジ	3TA4×10S	30	35	30	35
	垂木開き止め金具	EB-2213	12	14	12	14
	側枠開き止め金具	EB-2214	4	4	4	4
	M4×13セルフドリリングビス	DDAP4×13S	46	53	46	53
	M4×12セルフドリリングネジ	BN-312-02	75	85	125	140
	コーナーキャップ	CY-1916	R/L各2	R/L各2	R/L各2	R/L各2
	M4×10トラスタッピンネジ	3TA4×10S	4	4	4	4
	雨樋部品セット (ETC-4101) ×2セット	落し口	ETC-2646	1	1	1
		落し口パッキン	ETC-2669	2	2	2
		ドレンエルボ	ETC-4077	1	1	1
		エルボ	ETC-2435	2	2	2
		固定バンドA	ETC-2436	3	3	3
		固定バンドB	ETC-2437	3	3	3
		水抜き孔塞ぎ	ETC-2649	1	1	1
		Φ4×12トラス (タッピン3種)	3TB4×12S	4	4	4
		Φ4×19セルフドリリングビス	DDAP4×19W	3	3	3
		接着剤	BC-2659	1	1	1
	縦樋ソケット	ETC-2369	2	2	2	2

梱包名称	部品名称	部品記号	数量
柱建用部品箱	アンカー棒	NAN-2	4
	柱固定金具	EB-2713	4
	柱建用桁取付金具	EB-2711	4
	裏板	BP-1893	8
	M10×20六角セムスボルト	BW10×020S	16
	M8×20六角セムスボルト	BW08×020S	8
	M6×15皿小ネジ	MFA6×15S	16
	柱建用取付説明書	ME-1993	1
	取扱説明書	MET-1001	1
	積雪30cm用注意表示ラベル	ML-1066	1

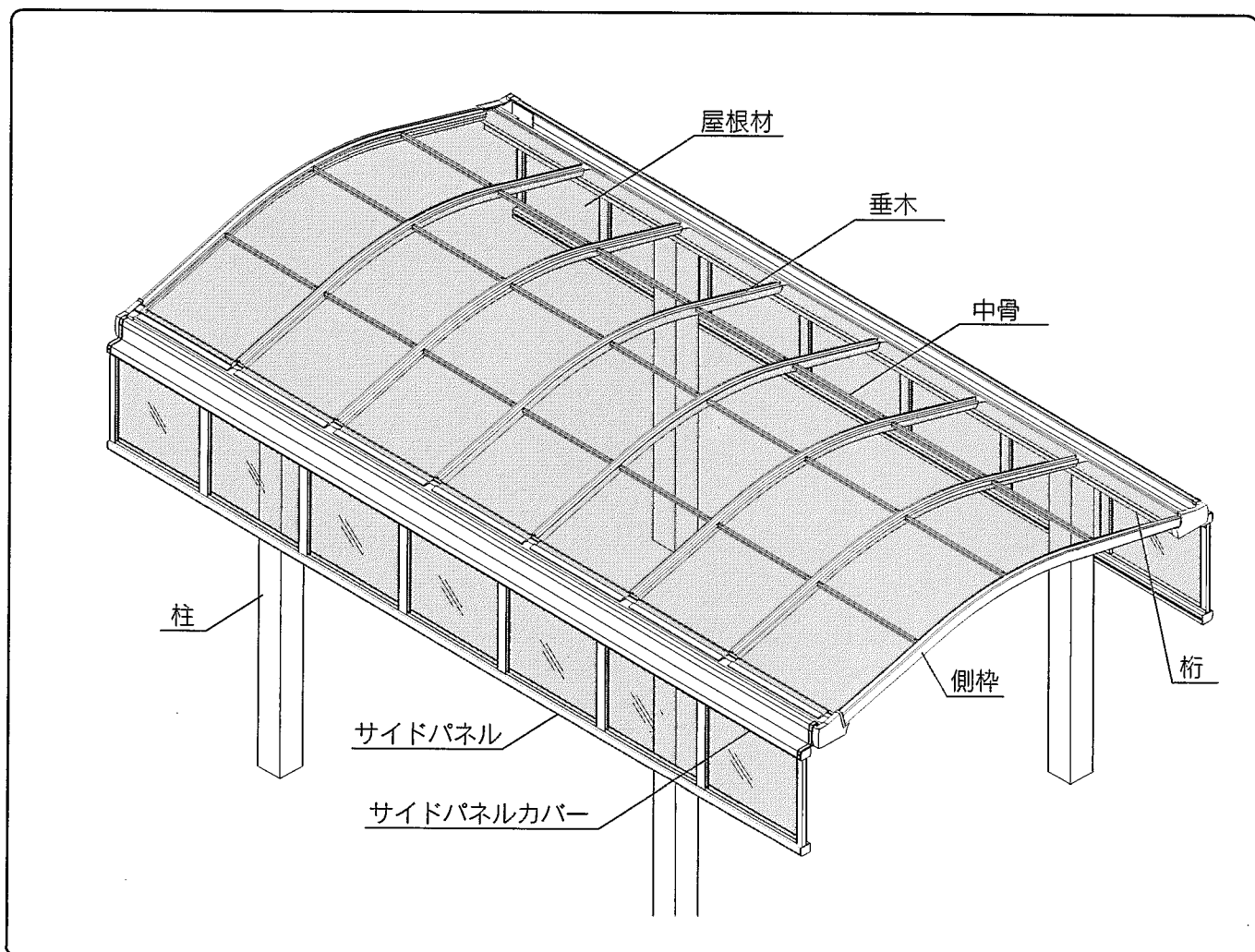
組立時に用意するもの

①シーリング剤

■ 構造説明図(単体)

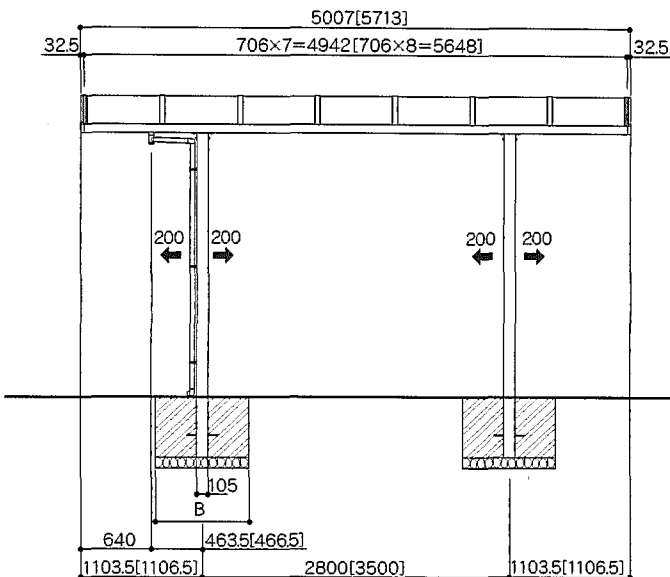
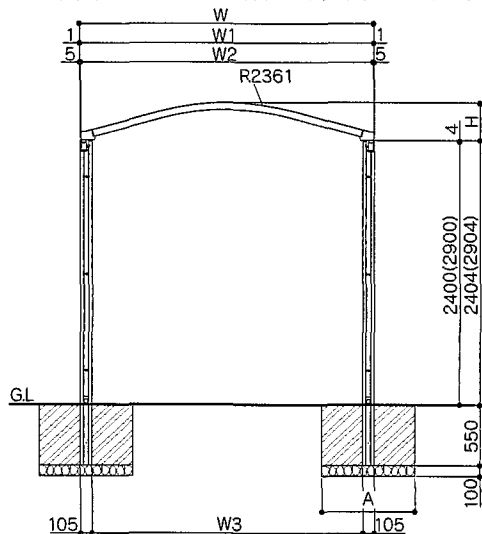


■ 構造説明図(サイドパネル付き)



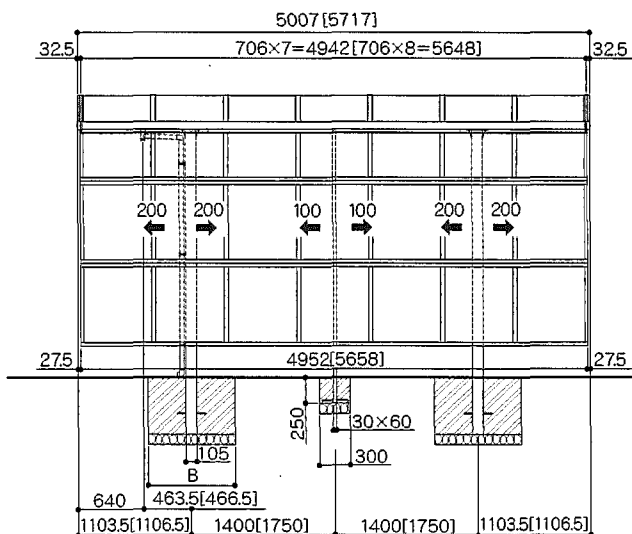
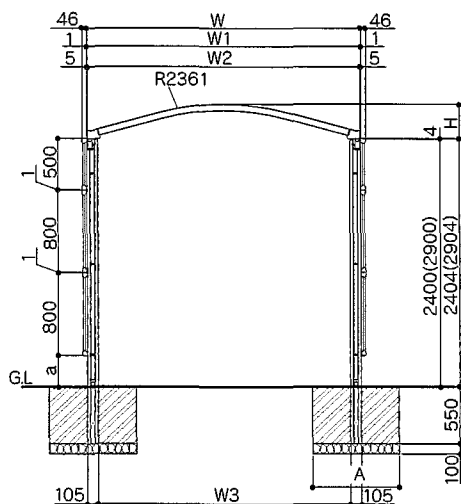
納まり図(単体) シュガースペースⅡ 柱建て用

- () 内寸法は柱高2900タイプです。
- [] 内寸法は奥行57タイプです。
- 本図は間口27、奥行50、柱高2400タイプです。



納まり図(サイドパネル付き) シュガースペースⅡ 柱建て用

- () 内寸法は柱高2900タイプです。
- [] 内寸法は奥行57タイプです。
- 本図は間口27、奥行50、柱高2400タイプです。
- 本図はサイドパネルH:2100タイプです。



単体間口寸法表

	間口15	間口18	間口24	間口27	間口30
W	1487	1784	2378	2675	2972
W1	1485	1782	2376	2673	2970
W2	1475	1772	2366	2663	2960
W3	1275	1572	2166	2463	2760
H	178	218	298	337	377

●→は柱移動範囲を表します。

サイドパネル関係寸法

呼 称	a寸法	
	柱H2400	柱H2900
H:500 パネル1段	1904	2404
H:1300 パネル2段	1103	1603
H:1600 パネル2段	803	1303
H:2100 パネル3段	302	802
H:2400 パネル3段		502

- サイドパネルH:500タイプを付ける場合のみサイドパネル柱は必要ありません。
- サイドパネルH:2400タイプは柱高2900タイプ使用時のみ取付けできます。

※土間コンクリートを併用しない場合

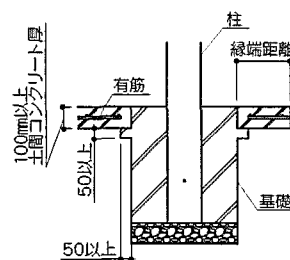
サイズ	基礎寸法A×B
間口15×奥行50・57	500×500
間口18×奥行50・57	
間口24×奥行50・57	
間口27×奥行50・57	
間口30×奥行50・57	

※土間コンクリートを併用する場合

サイズ	基礎寸法A×B	単位(mm)
間口15×奥行50・57	400×400	200
間口18×奥行50・57		
間口24×奥行50・57		
間口27×奥行50・57		
間口30×奥行50・57		

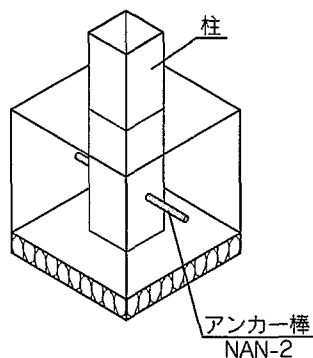
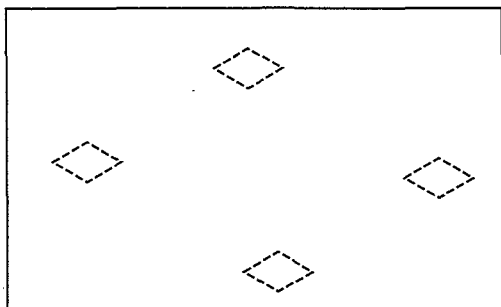
【土間コンクリート併用の基礎条件】

- 土間コンクリートの厚みが100mm以上であること。
- 有筋であること。
- 土間コンクリートの下部に、50mm×50mm以上の突起部を基礎全周に設けること。
- 基礎縁端部から土間外周部まで距離(縁端距離)が左記寸法以上であること。
- 地耐力が50Kv/m以上であること。



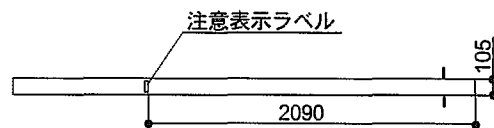
日本エクステリア工業会
カーポート基礎共同研究会
報告書より

1 基礎の施工



ポイント

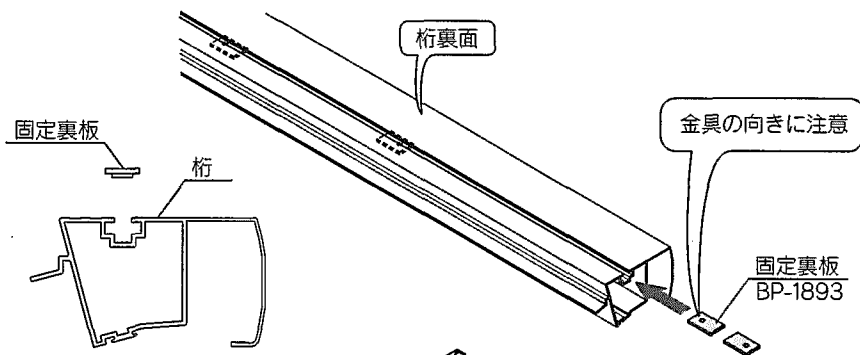
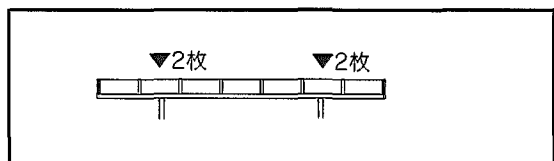
- 屋根に奥行方向の水勾配をつけて施工してください。
- コンクリートの施工は骨組み完了後に行ってください。



- ① 柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。
柱の位置・基礎寸法は納まり図を参照してください。
- ② 柱にアンカー棒を差し込んでください。
- ③ アンカー棒挿入側の切断面から、2090の位置に注意表示ラベル ML-1066 を貼付けてください。

2 桁の仮止め

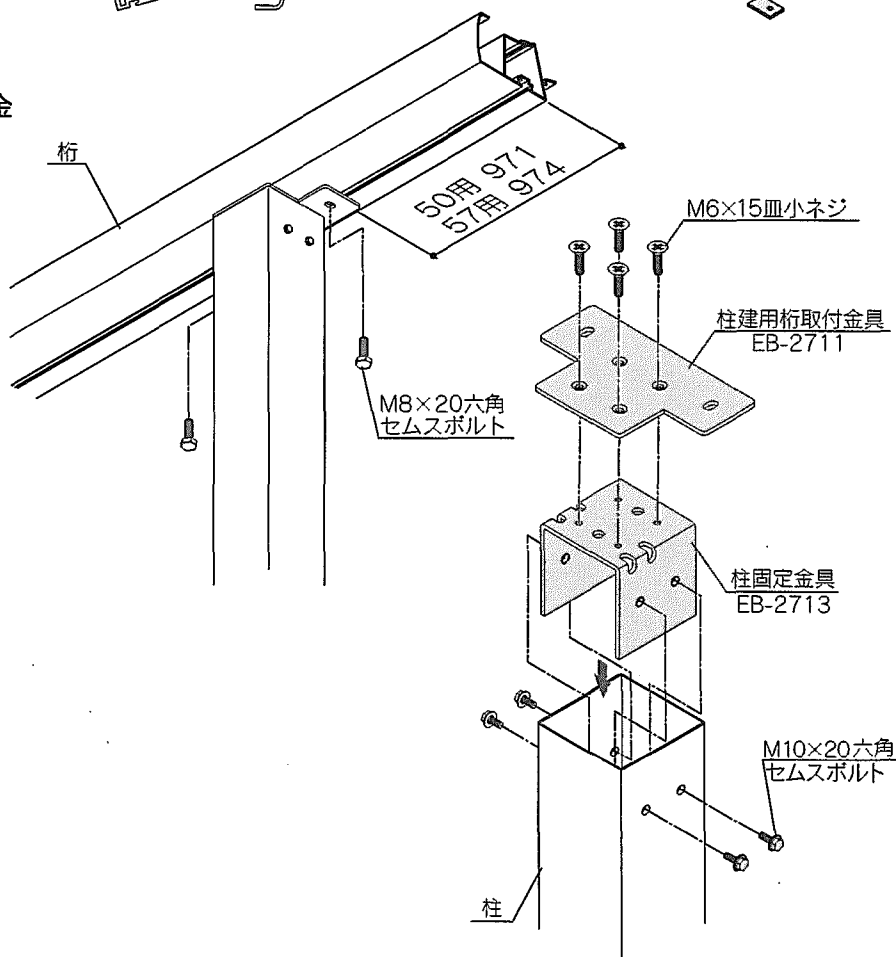
- ① 桁取付用の固定裏板を桁の溝部にスライド挿入してください。
固定裏板の数量は、下図を参考に数量、向きを間違わない様に入れてください。



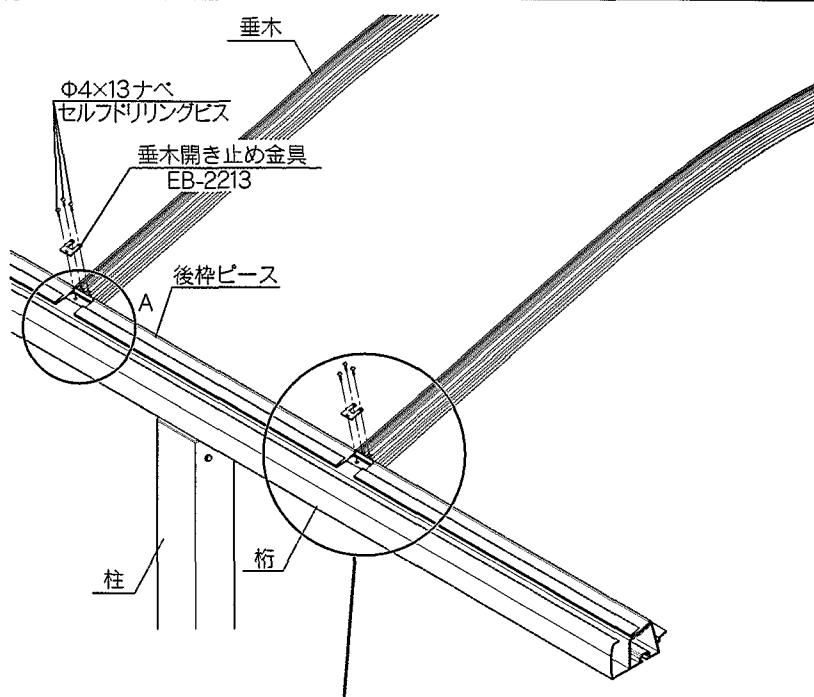
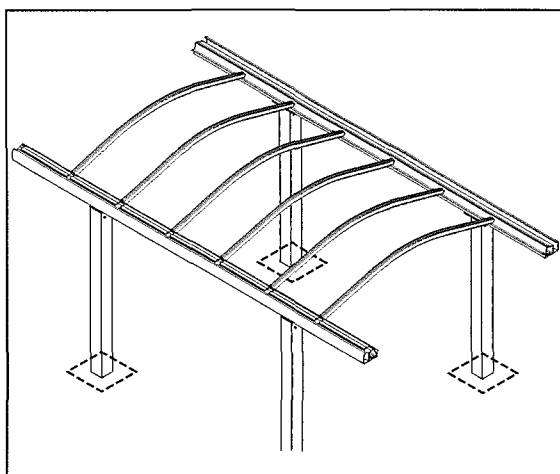
- ② 右図を参照して、柱建用桁取付金具を柱固定金具にM6×15皿小ネジで取付けてください。
- ③ 桁を柱の上に載せて仮組みしてください。



柱移動の場合は、現場合わせで仮組みしてください。



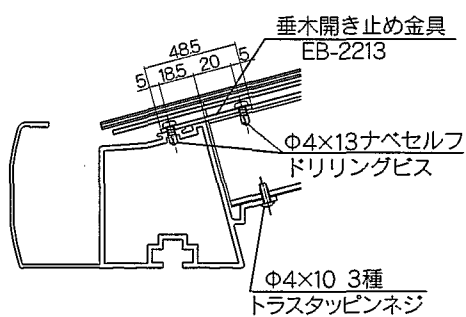
3 垂木の取付け



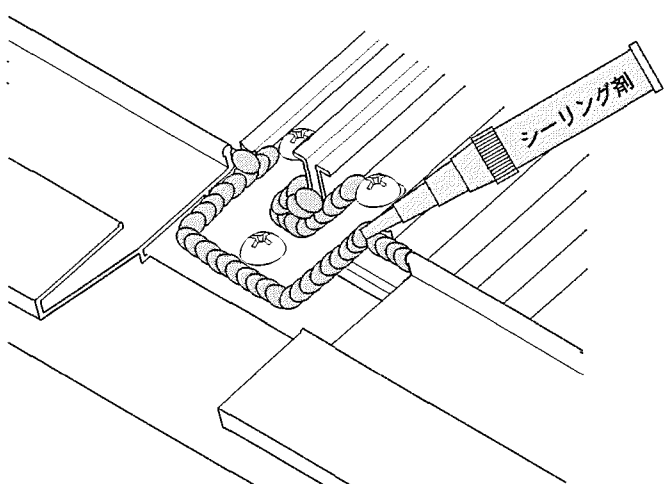
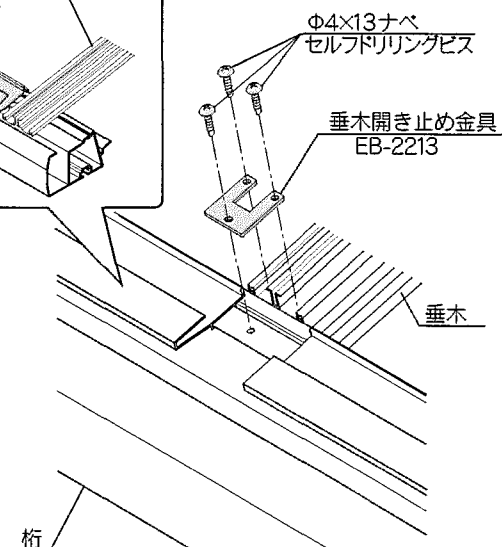
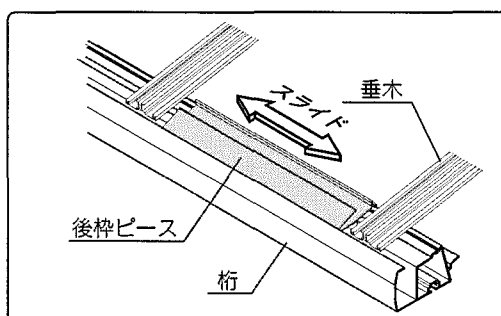
- ① 垂木を桁にΦ4×10トラスタッピンネジにて下側から取付けてください。この時、垂木開き止め金具を上側から桁と垂木にΦ4×13ナベセルフドリリングビスにて取付けてください。

！ 下図を参照してください。

- ② 桁の後枠ピースを垂木と垂木の真中に来るように調整してください。



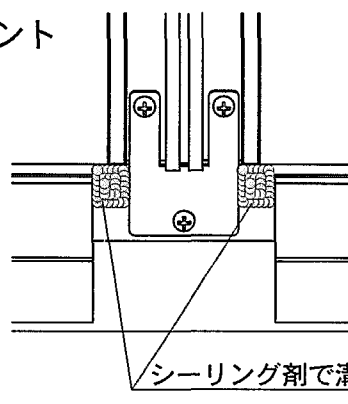
A部詳細



- ③ ①で止めた開き止め金具周辺にシーリングを施してください。

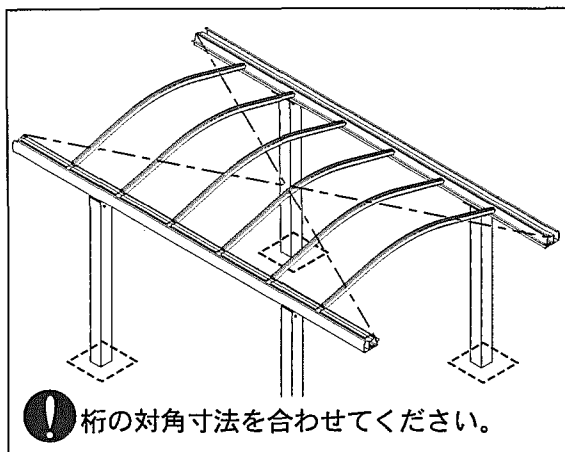
！ シーリングの際、屋根材を汚さないでください。

ポイント

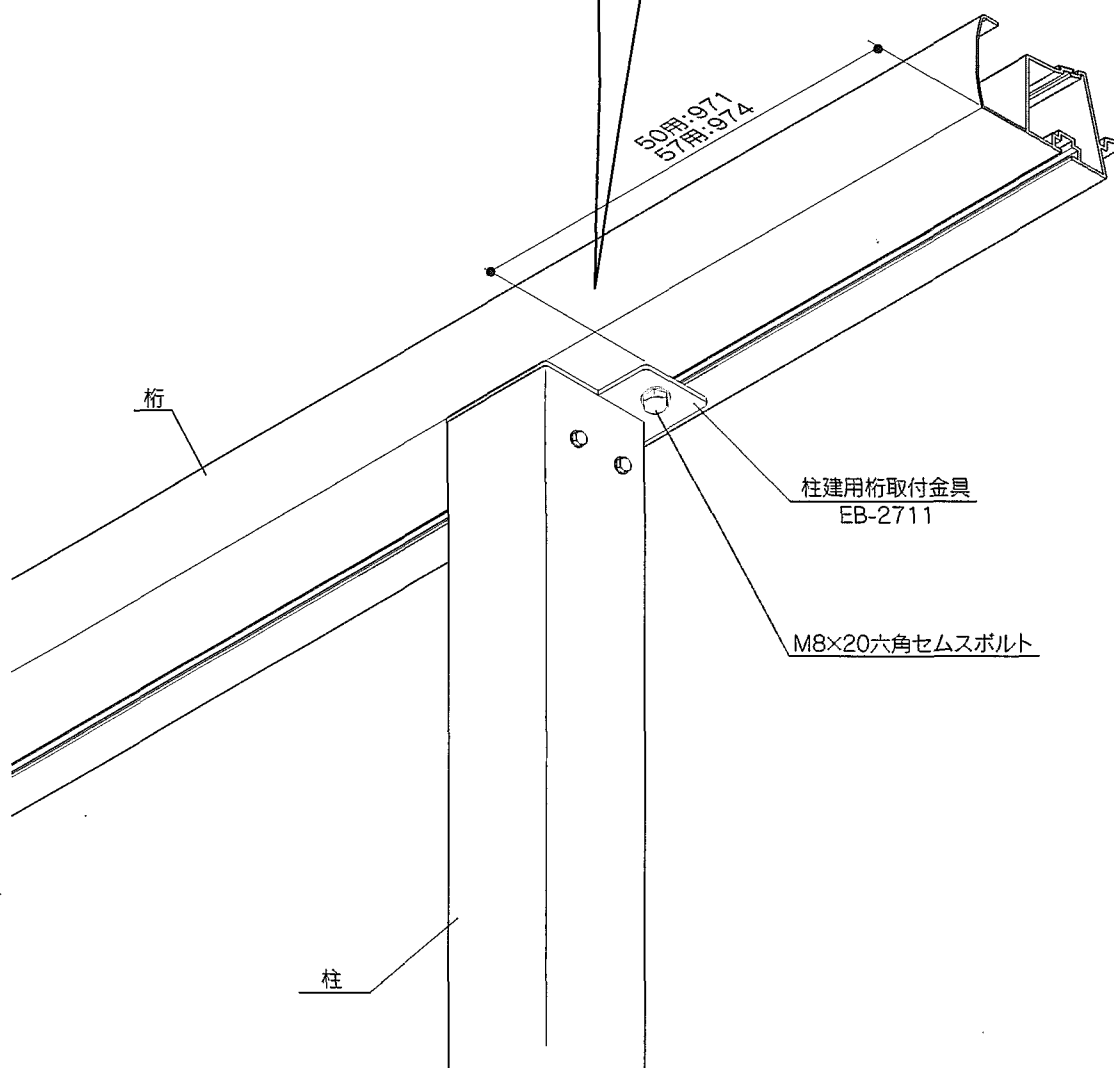
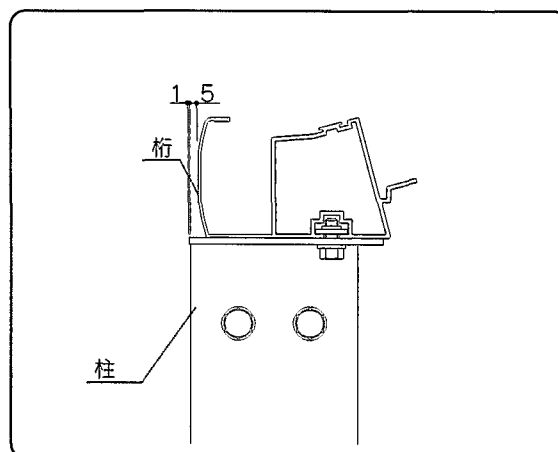


シーリング剤で溝を埋めてください。

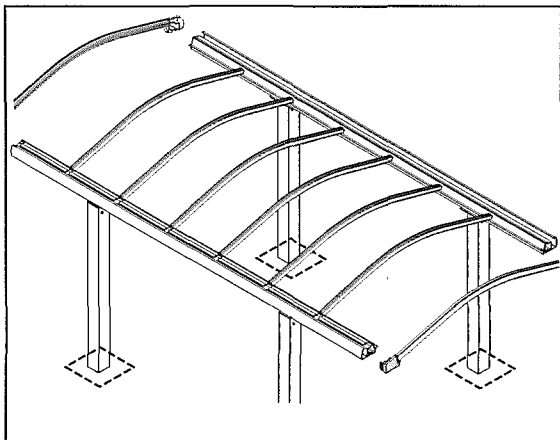
4 桁の本締め



- ① 桁の対角寸法を合わせて、M8×20六角セムスボルトにて、桁を固定します。

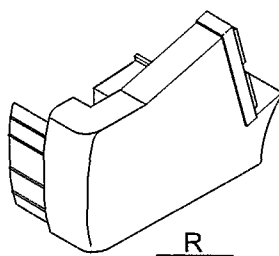


5 コーナーキャップの取付け

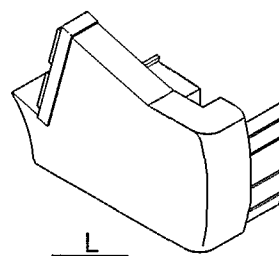


ポイント

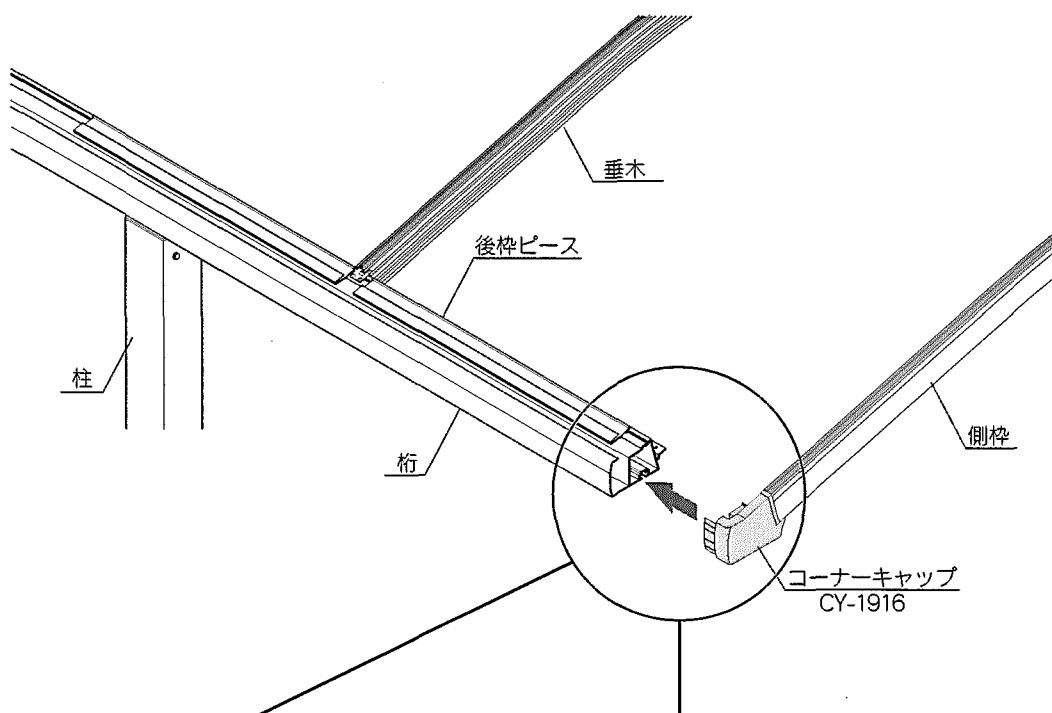
コーナーキャップ(CY-1916)には、R/Lがあります。



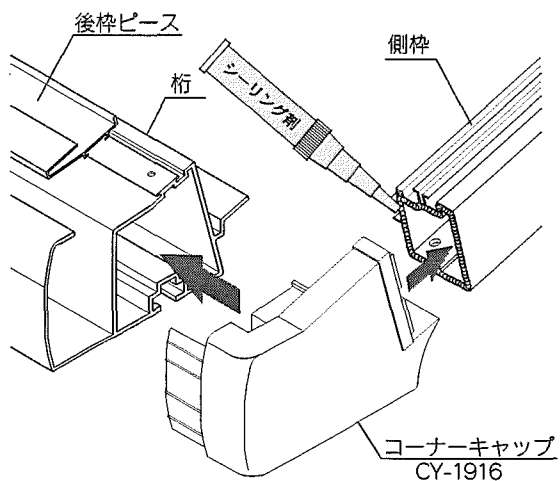
R



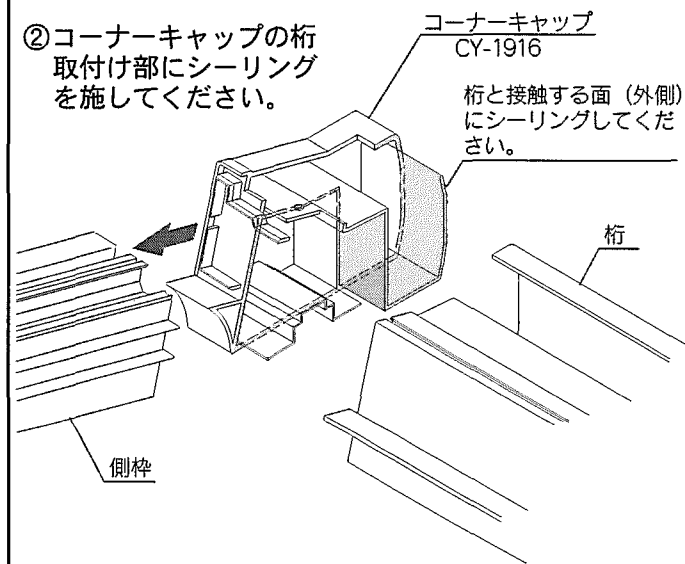
L



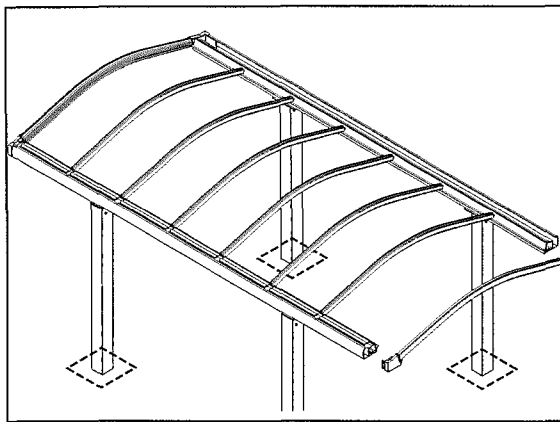
- ① 側枠切り口にシーリングを施しコーナーキャップを差し込み、柵に取り付けてください。



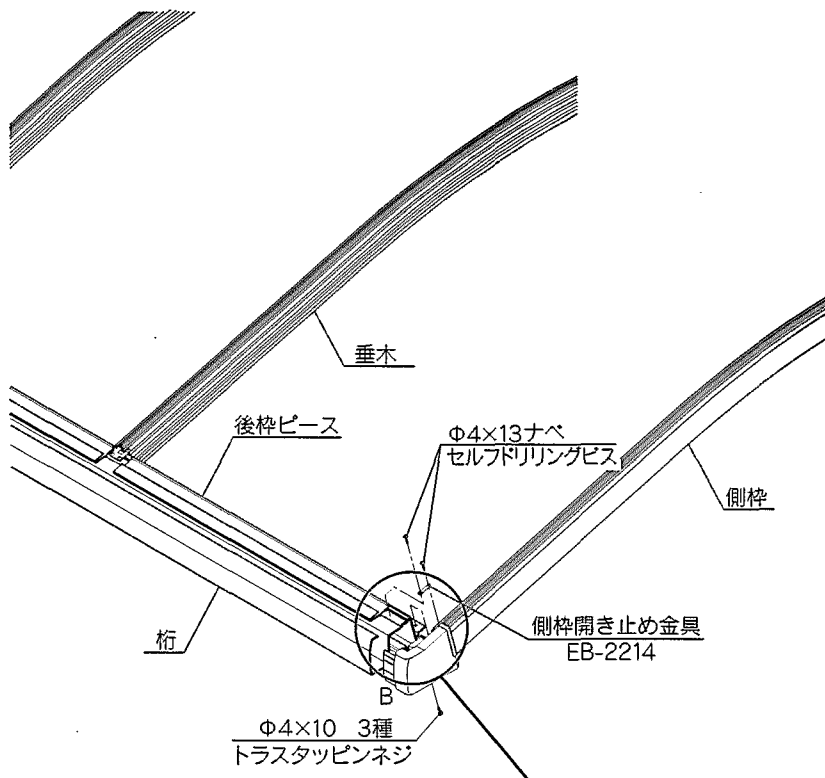
- ② コーナーキャップの柵取付け部にシーリングを施してください。



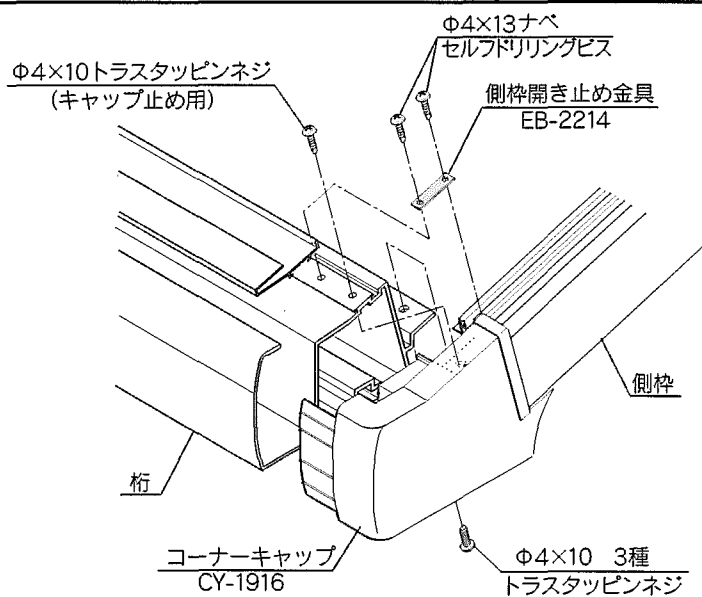
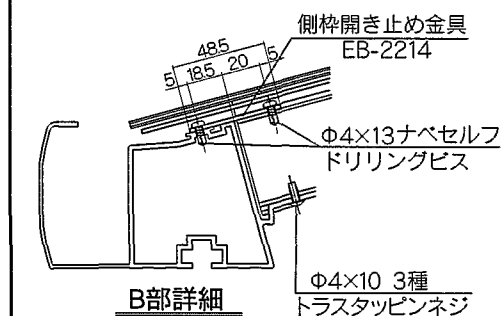
6 側枠の取付け



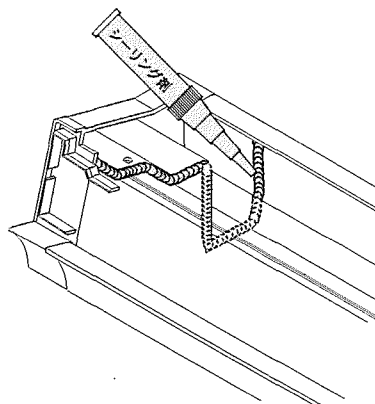
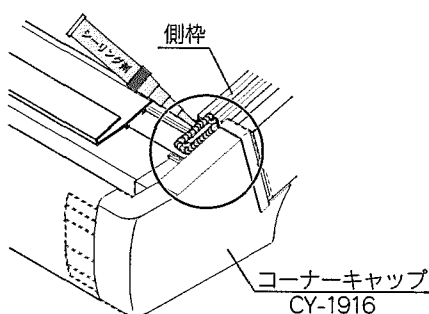
- ① 側枠を桁にΦ4×10トラスタッピンネジにて下側から取付けてください。この時、側枠開き止め金具を上側から桁と側枠にΦ4×13ナベセルフドリリングビスにて取付けてください。
- ② 上側からコーナーキャップと桁をΦ4×10トラスタッピンネジにて取付けてください。



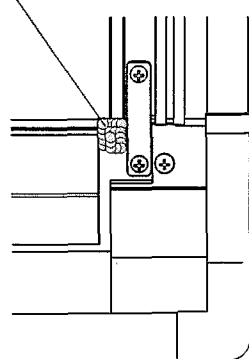
❗ 下図を参照してください。



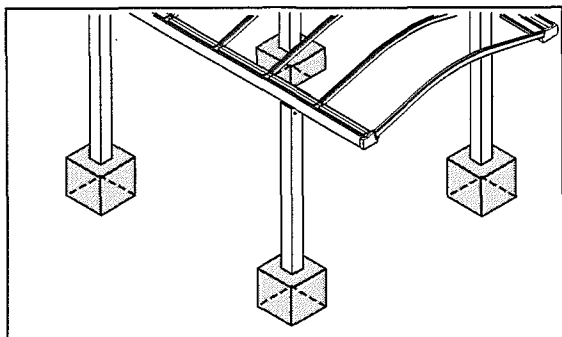
- ② ①でビス止めした開き止め金具周辺にシーリングを施してください。
- ③ 桁とコーナーキャップのジョイント部 (内側) にシーリングを施してください。



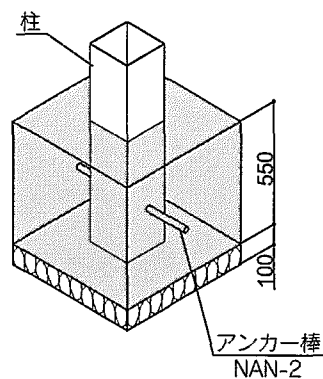
シーリング剤で隙間を埋めてください。



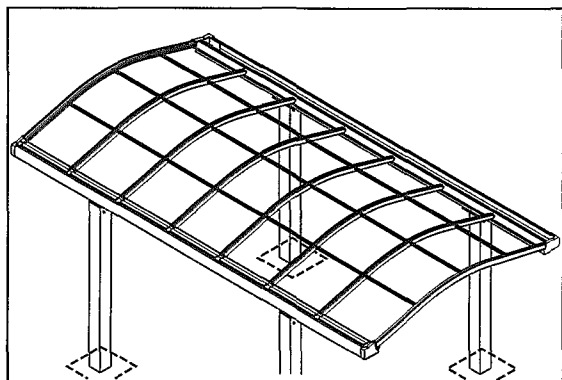
7 コンクリートの打ち込み



- ① 柱にアンカー棒が差し込まれているか確認してください。
- ② 屋根の対角、柱の間隔・垂直・平行寸法が正しくでているか確認してください。
- ③ コンクリートを流し込んでください。
- ④ コンクリートが固まるまで十分に養生してください。(4日～1週間程度)

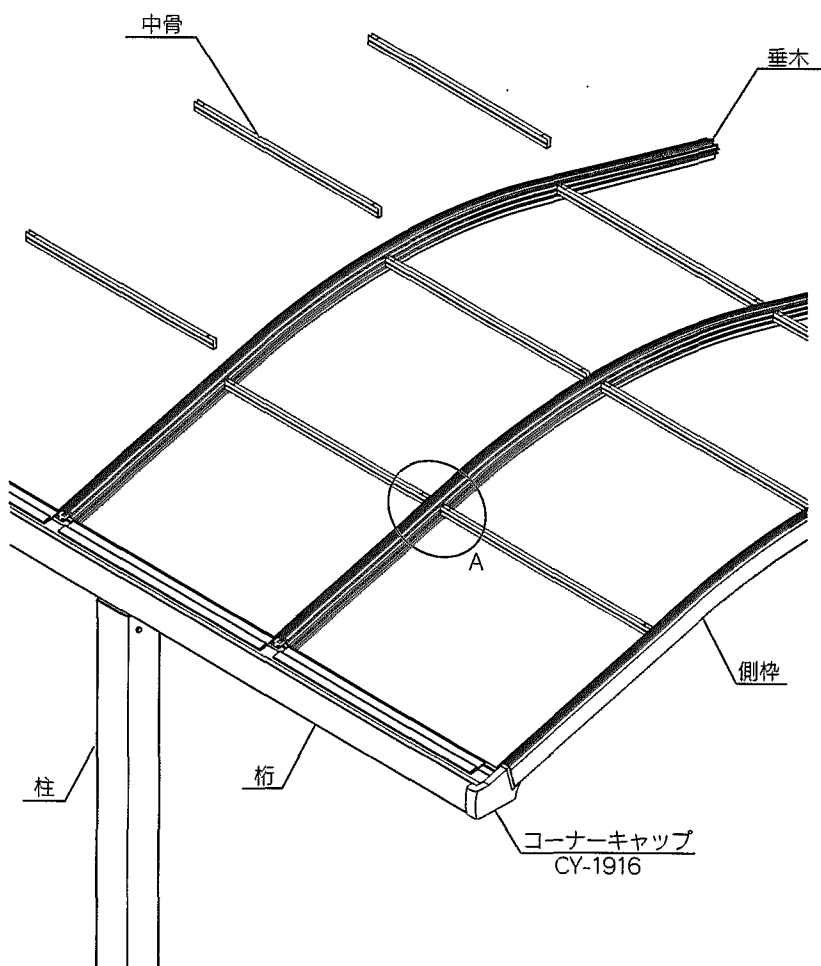
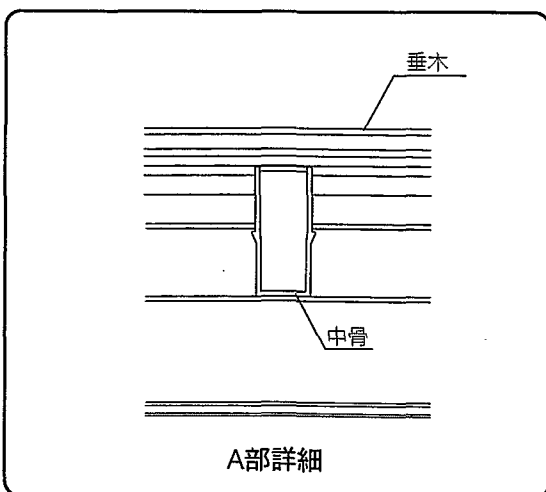


8 中骨の取付け



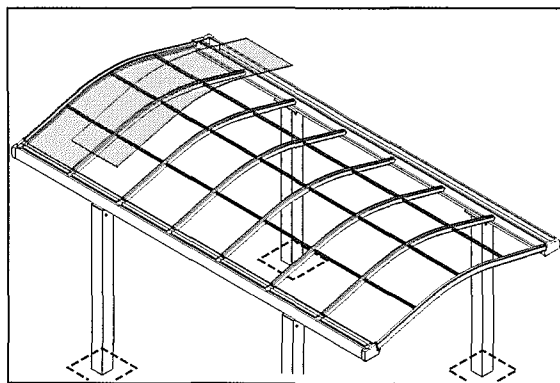
- ① 垂木と垂木の間に中骨を取付けます。
- ② 垂木と側枠の間に中骨を取付けます。

! 垂木の切り欠き部に、中骨を上から差し込みカチッと音がするまで押し込んでください。

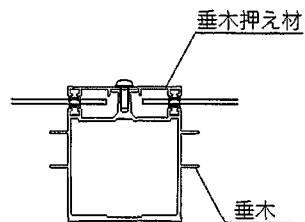


△注意 単体以外の納まりの場合は、これ以降の作業を行う前に各納まり用の取付説明書の作業を完了してください。

9 屋根材および押え材の取付け



垂木押え材納まり



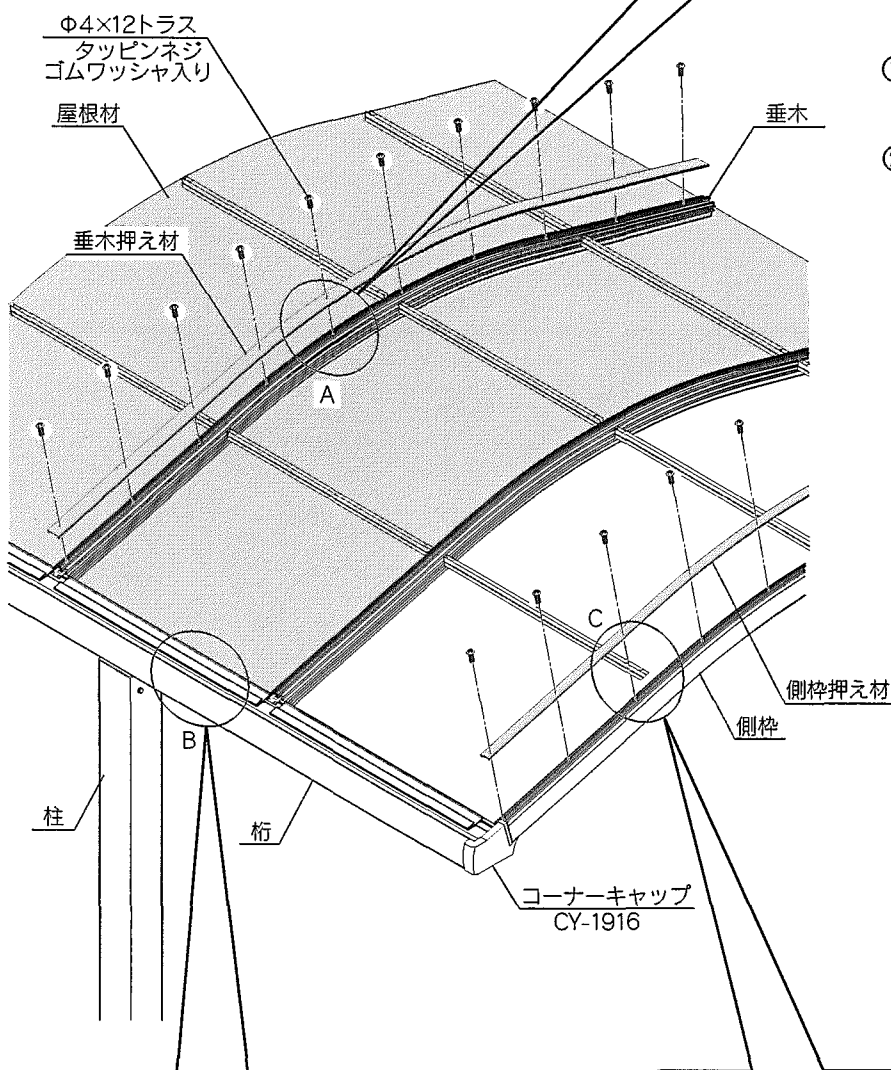
A部詳細

- ① 屋根材は先に片側の後枠ピースに突き当たるまで差し込んでから反対側の後枠ピースに入れてください。
- ② 押え材を押し当てながらビス止めしてください。

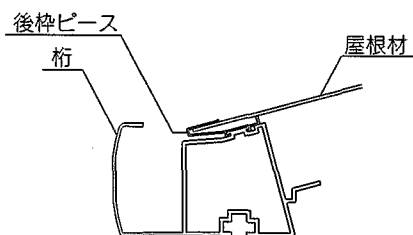
❗ 押え材の取付け時にインパクトドライバーは使用しないでください。

❗ ビスがから回りをした時は、ペンチで垂木の溝を狭くしてから止め直してください。

❗ シーリングの際、屋根材を汚さないでください。

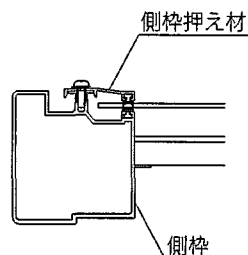


後枠ピース屋根材部納まり



B部詳細

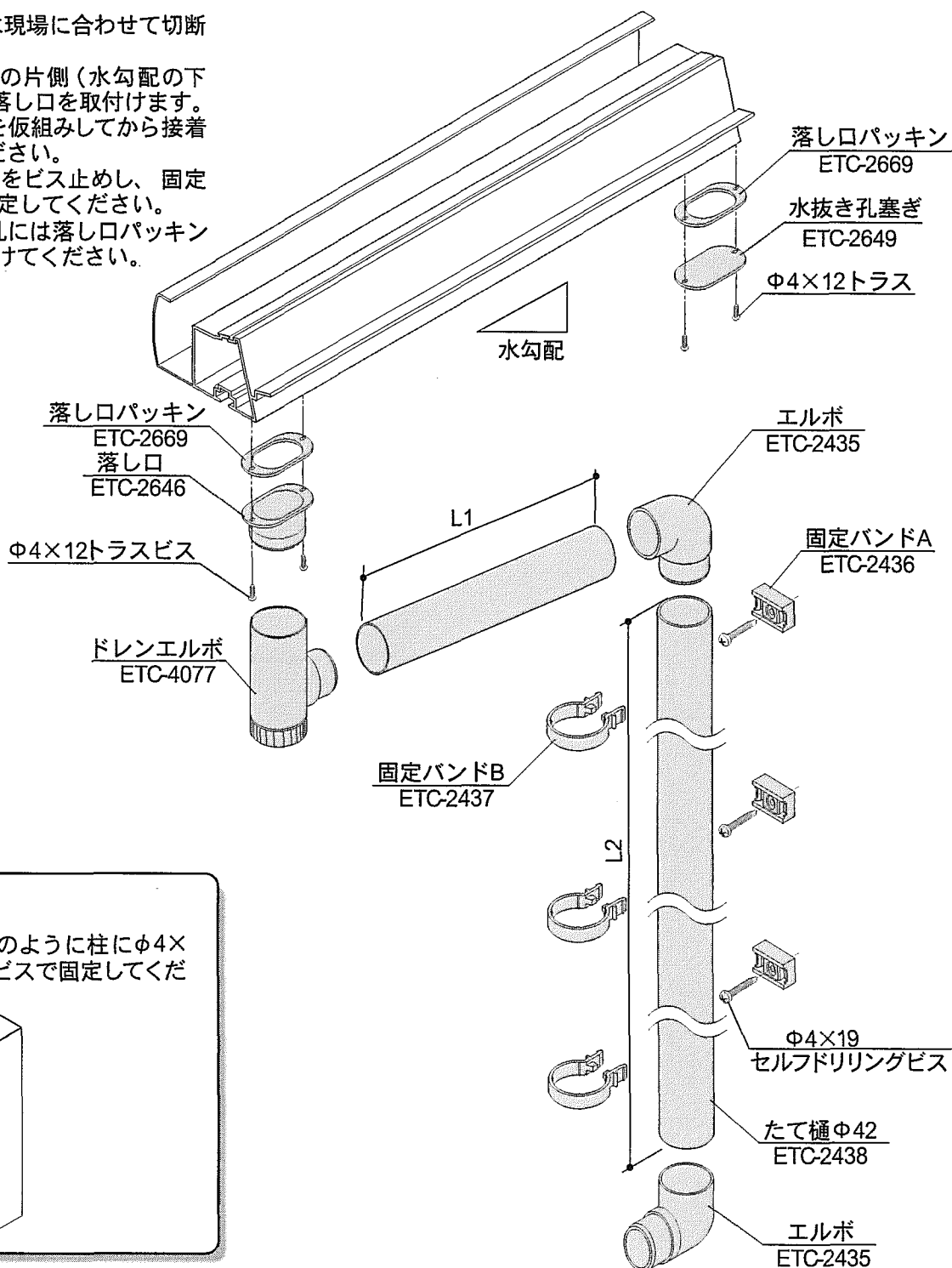
側枠押え材納まり



C部詳細

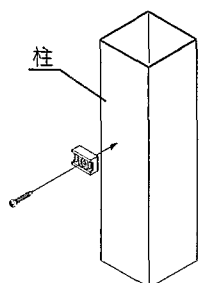
10 雨樋の組立

- ① たて樋の長さ(L1・L2)は現場に合わせて切断してください。
- ② 桁の両端にある加工孔の片側(水勾配の下側)に落し口パッキン・落し口を取付けます。
- ③ 右図を参考に雨樋部品を仮組みしてから接着剤にて順次接着してください。
- ④ 柱3ヶ所に固定バンドAをビス止めし、固定バンドBにてたて樋を固定してください。
- ⑤ 使用しない水抜き加工孔には落し口パッキン・水抜き孔ふさを取付けてください。



ポイント

- 固定バンドは、下図のように柱にΦ4×19セルフドリリングビスで固定してください。



○ 施工完了時の注意事項

- ボルト・ビス類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。
- この取付説明書は、施工終了後施主様にお渡ししてください。
- 「取扱説明書」に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。